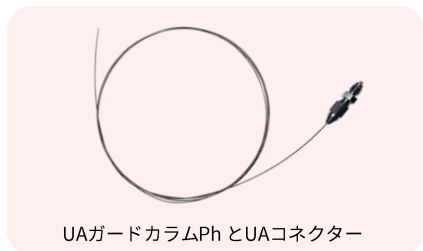


新製品

# フタル酸エステル類の分析用PBDEカラム専用 UAガードカラムセットPh

ガードカラム（UAガードカラムPh）と接続ユニオン（UAコネクター）のセットです。フタル酸エステル類の分析に推奨されているフロンティア・ラボ社製分離カラム（UA-PBDE）に接続することで、分離カラム本体の汚染を低減し、その交換頻度を減らします。

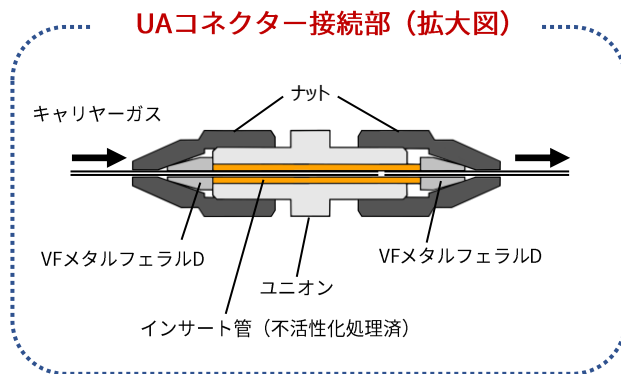
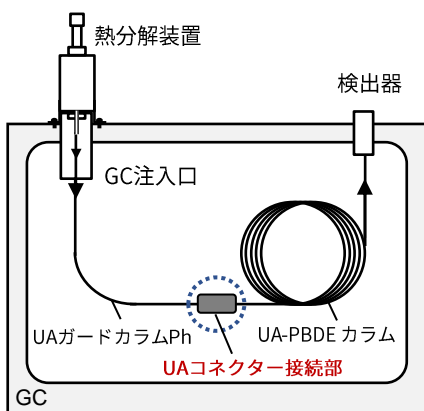
## UAガードカラムセットPhの特長



UAガードカラムPhとUAコネクター

- 分離カラムの寿命を向上
- ガードカラムの交換が容易

**【構造】** UAガードカラムをUAコネクターの片側に接続し、もう一方から現在使用中のUA-PBDEカラムを接続して専用の金属フェラルでシールします。



## 製品の仕様 (UAガードカラムPh)

- フタル酸エステル類の分析専用
- 接続カラム : UAPBDE-15M-0.05F
- 固定相 : ジメチルポリシロキサン
- 材質 : 不活性化処理済、ステンレススチール
- サイズ : 長さ 1.5 m、内径 0.25 mm、外径 0.47 mm、膜厚 0.1 μm
- 最高使用温度 : 380 °C

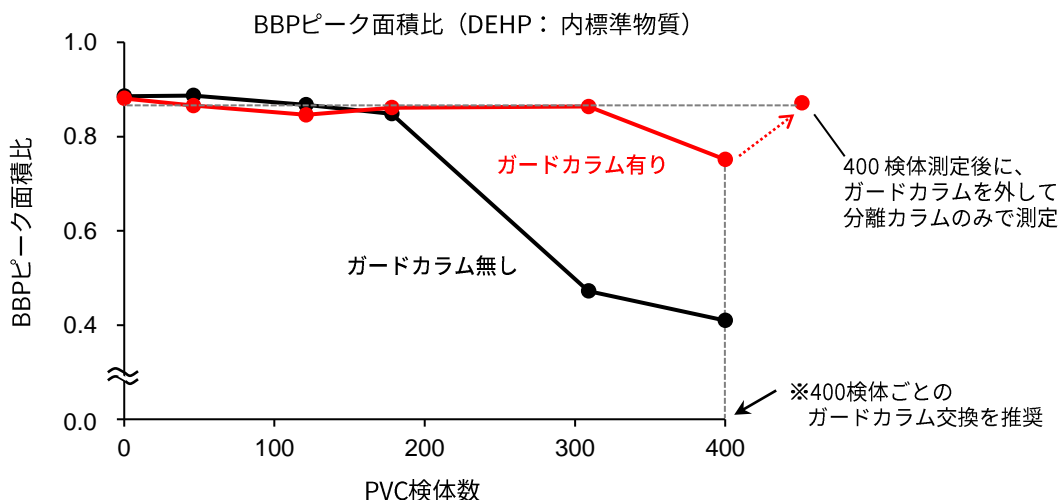
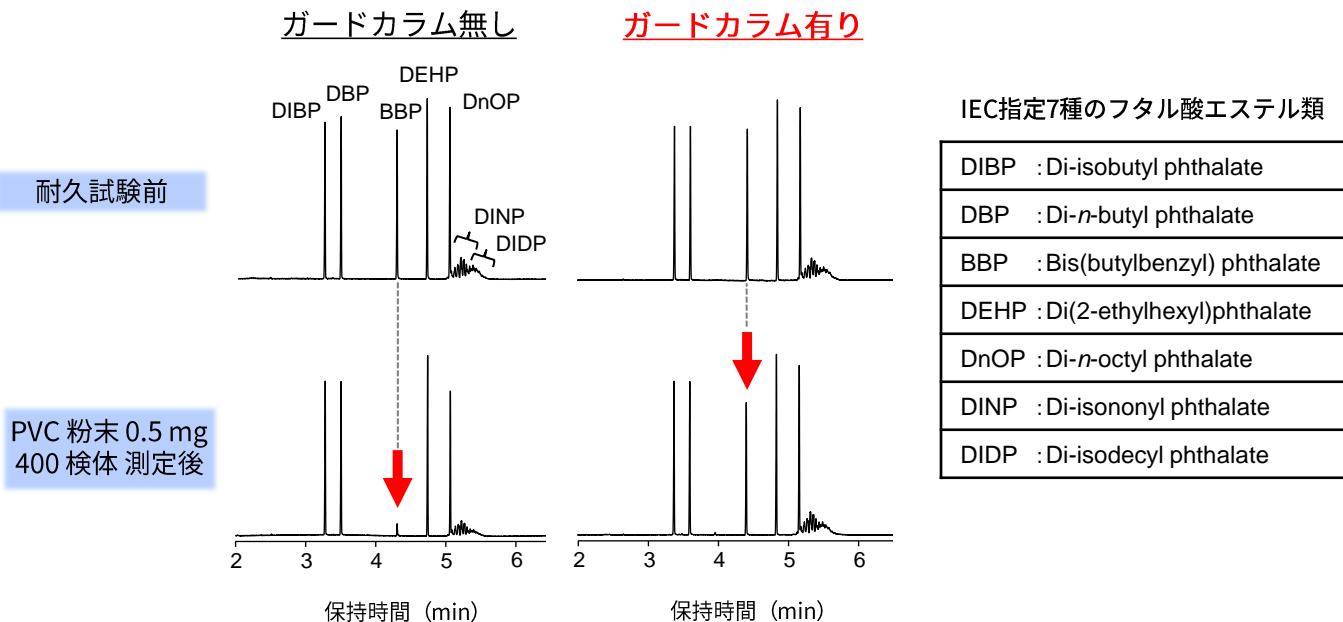
製品名称	製品番号	セット内容
UAガードカラムセットPh	UAGU-K01	UAガードカラムPh (1本) UAコネクター (1個)、VFメタルフェラルD (3個)、スパナ (6/8 mm、2本)
UAガードカラムPh	UAGU-M15	UAガードカラムPh (2本)
UAコネクター	UAGU-K02	UAコネクター (1個)
VFメタルフェラルD	MS402167	VFメタルフェラルD (20個)

# UAガードカラムPhによる分離カラム長寿命化の一例

UAガードカラムPhの有無が分離カラムの劣化に与える影響を検証するため、ポリ塩化ビニル (PVC) の粉末 0.5 mgを400 検体測定する耐久試験\*を行いました。耐久試験の前後に標準試料としてIEC62321-8で指定されている7種のフタル酸エステル類を含む試料を測定し、分離カラムを評価しました。

ガードカラム有りの場合はガードカラム無しの場合と比較して、耐久試験後のBBPのピーク面積の減少は僅かでした。また、耐久試験後にガードカラムを取り外して分離カラムのみで測定したところ、BBPのピーク面積が回復したため、分離カラムが保護されていることがわかります。

\* PVCの測定は分離カラムにとって最も過酷な測定の一つです。PVCの熱分解により発生するHClが分離カラムの固定相に大きなダメージを与えます。



測定条件: TD: 150 - 320 °C (200 °C/min, 0.5 min), GC Inj.: 300 °C, Carrier: He 1 mL/min, Split ratio: 1/50, GC Oven: 80 °C - 320 °C (50 °C/min, 1.2 min), Det.: FID 320 °C, 耐久性試験用試料: PVC 0.5 mg, 標準試料: IEC指定7種フタル酸エステル類 各 0.5 µg